

札幌市精神保健福祉センター  
令和6年(2024年)12月2日

関係機関各位

札幌市精神保健福祉センター  
所長 鎌田 隼輔

「札幌市がん患者支援医療従事者等向け研修会」の開催について（御案内）

時下、ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より札幌市の精神保健福祉行政に対し御理解・御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

本市では「札幌市自殺総合対策行動計画2024」「第2次札幌市がん対策推進プラン」を策定し、がん患者の自殺対策を行うことが新たに明記されております。

がん患者が希死念慮を吐露するのは、身近な家族や医療従事者に対してであることが多いと推測されます。そのような際に医療従事者等ができる理解や対応について学ぶ機会として、標記研修会を別添のとおり開催いたします。

つきましては、業務多忙の折とは存じますが、関係職員への周知を願いますとともに、参加について御配慮いただきますようお願いいたします。

【送付資料】

「札幌市がん患者支援医療従事者等研修会」チラシ

【担当】

札幌市精神保健福祉センター（札幌こころのセンター）相談支援係 森本、笹谷、猪師  
Tel：011-622-5190（代表） Fax：011-622-5244  
E-mail：kokoro-c@city.sapporo.jp（研修内容に関すること）

# 「死なせてほしい」と言われたら

## ～がん患者の希死念慮への理解と対応～

がん患者の希死念慮は、身体的機能の低下、痛み、うつ状態や家族への負担を気にするなど、様々な苦痛が複雑に絡み合っているとされています。患者に「死にたい」と言われた医療従事者は戸惑い、傾聴すべきか、精神科にリファーすべきか等、振る舞いに悩むことが少なくありません。

「死にたい」「死なせてほしい」と言われた時にどうするか——。日々患者と向き合っておられる医療従事者の支えや指針となる研修になれば幸いです。

日時 令和 7 年 1 月 23 日 (木) 18:30～20:15

(Zoom オンライン開催)

講師 上村 恵一 先生

斗南病院精神科科長、診療サポート室室長

## 上村恵一先生 ご略歴

2001年旭川医科大学を卒業後、北海道大学医学部精神医学講座に入局。精神科医として北海道がんセンター、市立札幌病院、北海道医療センター勤務を経て、現在、斗南病院精神科科長及び診療サポート室室長。

日本緩和医療学会（理事/代議員、渉外委員長）、日本総合病院精神医学会（理事/評議員、地方会委員長、がん対策委員会副委員長、指導医・専門医）、日本サイコオンコロジー学会（代議員、精神腫瘍登録医）、日本精神神経学会（指導医・専門医）、日本心身医学会（代議員）、日本臨床精神神経薬理学会（指導医・専門医）所属。

総合病院における精神科医の役割についての普及啓発、緩和ケアにおけるサイコオンコロジーの教育・普及啓発につとめている。



## 申込方法

[https://www.city.sapporo.jp/eisei/gyomu/SEISIN/kouenkai/gankenshu20250123\\_moshikomi\\_form.html](https://www.city.sapporo.jp/eisei/gyomu/SEISIN/kouenkai/gankenshu20250123_moshikomi_form.html)

上記URL(右の二次元バーコード)にアクセスいただき、

申込フォームに必要事項を入力してください。

追って、参加の可否についてメールでご連絡いたします。

また、当日ZOOMのミーティングURL及び資料は、締切後にお送りします。



申込締切 令和7年1月15日(水)

プロジェクター等で投影して複数名で受講する場合も、**全員分の申込が必要です。**

対象

がん患者の支援に携わる医療従事者等

定員

70名

参加費

無料

- ・オンラインのみの研修になります。Zoomを使用します。
- ・通信に必要な費用は受講者負担となります。

問い合わせ先

札幌市精神保健福祉センター（札幌こころのセンター）

[kokoro-c@city.sapporo.jp](mailto:kokoro-c@city.sapporo.jp)

担当：相談支援係 森本・笹谷・猪師（011-622-5190）



さっぽろ市  
02-F04-24-2350  
R6-2-1539